



もうすぐ「瀧沸湖水鳥・湿地センター」竣工！

とうふっこ 瀧沸湖エコツーリズム シンポジウム

入場
無料

～ラムサール条約登録湿地「瀧沸湖」を活用した
エコツーリズムの可能性～



期日：平成24年3月24日(土) 13:30～16:00
場所：エコーセンター2000
〔オホーツク・文化交流センター 大会議室〕



住所：網走市北2条西3丁目3番地
TEL：0152-43-3704



■ 基調講演

- ・「地域資源を守っていかすエコツーリズム」
講演者：敷田麻実氏（北海道大学観光学高等研究センター教授）

■ 地域からの話題提供

- ・「野鳥の楽園・瀧沸湖の本当の魅力」 / 川崎 康弘 氏（日本野鳥の会オホーツク）
- ・「着地型観光とエコツーリズムの可能性」 / 高谷 弘志 氏（網走市観光協会）
- ・「霧多布湿原における地域ぐるみのエコツーリズム」 / 阪野 真人 氏（NPO 法人霧多布湿原ナショナルトラスト）

■ パネルディスカッション

- ・テーマ：「瀧沸湖及び周辺の自然・文化・社会的資源を、エコツーリズムを通じて如何に地域振興にいかすか」

主催

環境省釧路自然環境事務所

共催

網走市 小清水町

お問い合わせ

- ・網走市 生活環境課
担当：平野 / TEL:0152-44-6111(内線 342)
- ・小清水町 産業課
担当：千葉 / TEL:0152-62-4481
- ・環境省 釧路環境事務所
担当：山本 / TEL:0154-32-7500

お申し込み先

- ※席数に限りがあるため、シンポジウムにご参加の際は、
氏名・連絡先(住所・電話・E-mail)・所属先をご記入の上、
事前にE-mail または TEL、FAX にてご連絡ください
- ・(株)地域環境計画(担当：黒澤・井上)
E-mail：hkd-office@chiikan.co.jp
TEL:011-717-8001 FAX：011-717-8021
- ※お申込みの締め切りは平成24年3月22日(木)です

エコツーリズムとは？

エコツーリズムとは、環境保全、観光振興、地域振興の同時実現という理念を持って生まれた新しい観光であり、『自然環境への負荷を最小限にしながらそれを体験・学習し、目的地である地域に対して何らかの利益や貢献のあるツアーをつくり出し、実践する仕組みや考え方』を指します。

エコツーリズムという新しい観光の出現によって、今までの物見遊山としての観光は、学びとエンターテインメントの場へと変わりつつあります。そして、エコツーリズムに関わる地域の関係者が、エコツーリズムの推進を通して地域の自然環境を再評価し、その価値を高めていくとう創造的なプロセスが起きています。

今回のシンポジウムでは、ラムサール条約登録湿地である濤沸湖を活用したエコツーリズムの可能性について、他地域の事例を紹介しながら、網走市や小清水町をはじめとするオホーツク圏の方々が情報を共有し、その将来を共に考えていきたいと思っています。

濤沸湖を活用したエコツーリズムにご興味のある方は、下記の「お申し込み・お問い合わせ」をご確認の上、ふるってご参加ください。

参考：「地域からのエコツーリズム 観光・交流による持続可能な地域づくり」（2008年 敷田麻実 編）学芸出版社

お申し込み・お問い合わせ

< お申し込み先 >

席数に限りがあるため、シンポジウムにご参加の際は、予め下記の申し込み窓口までEメールまたはTEL、FAXのいずれかの方法でお申し込みください

| | | |
|------|--------------------------|------------------|
| 窓口 | 株式会社 地域環境計画 | 担当：黒澤・井上 |
| Eメール | hkd-office@chiikan.co.jp | TEL 011-717-8001 |
| | | FAX 011-717-8021 |

< FAX 応募フォーム >

Eメールでのお申し込みの際は、下記の内容をお知らせください
また、件名に“濤沸湖エコツーリズムシンポジウム”と記入してください

| | | | |
|------|---|------|--|
| 住所 | 〒 | 所属 | |
| ふりがな | | TEL | |
| 氏名 | | Eメール | |

< お問い合わせ先 >

網走市 生活環境課 担当：平野 / TEL 0152-44-6111(内線 342)
小清水町 産業課 担当：千葉 / TEL 0152-62-4481
環境省 釧路環境事務所 担当：山本 / TEL 0154-32-7500

【申し込み期限】平成24年3月22日（木）まで